

令和 2 年 8 月 25 日
武蔵野市役所教育委員会室
15 : 00 ～

令和 2 年度 第 4 回武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会 次第

1 開会

2 議事

(1) 中学校セカンドスクールについて

- ・事務局より説明
- ・各委員より
- ・委員長より説明

(2) 次回の検討課題について

- ・事務局説明
- ・意見交換

3 事務連絡

発達段階を踏まえた連携

★他者とよりよい人間関係を築く場の設定

小学校のセカンドスクール

- ・分宿による仲間づくりや仲間との密接な関わり
- ・宿の方の交流

小学校の市民科

- ・武蔵野市の課題
- ・現代的課題を市としてどう解決するのか

★他者との協働による課題解決力の向上

中学校のセカンドスクール

○具体的な活動内容

- ・グループごとによる協働した課題解決、追究型の学習
- ・現代的課題を宿泊する地域ではどう解決しているのか
- ・対象地域が異なる(都市、地方、自然環境等)と、どのような違いや工夫があるのか調査する。 など

◆どのような力を身に付けるのか

社会参画に向けた課題解決能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、クリティカルシンキング

【関連する教科等】

特別活動

総合的な学習の時間

国語、社会

発展的な自然体験活動

★「挑戦」を意識した自然環境との関わり

○具体的な活動内容

- ・SDGsに関する調査を通した体験活動、ポスターセッションとして発表
- ・現地の自然に関するボランティア活動
- ・災害時に活用できる知識・技能を学ぶキャンプ泊
- ・小学校のハイキングや登山より難易度が高いコースへの挑戦
- ・地域の風土や特性を生かしたオリエンテーリング(道祖神巡り、安全マップ作り等)
- ・手作りのいかだを作り、川下り など

◆どのような力を身に付けるのか

情報活用能力
課題解決能力
コミュニケーション能力
自然を敬愛する心情
体力

【関連する教科等】

総合的な学習の時間

理科、社会、技術・家庭

美術、特別の教科 道徳

中学校独自の内容

★キャリア教育を踏まえた職業体験

○具体的な活動内容

- ・地域の農林水産業、伝統、観光業に関する調査、武蔵野市との比較、発表
- ・現地の写真撮影、編集を通して、ガイドブック作り
- ・現地でのプレ職場体験(働く方にインタビュー、講話等も含む)
- ・地域の特産品の加工、製造、作成
- ・第1次産業、第2次産業、第3次産業の流れに沿った体験学習
(木材の切だ出しから販売まで) など

◆どのような力を身に付けるのか

情報活用能力
コミュニケーション能力
様々な職業観の醸成
自己の将来を主体的に考える力

【関連する教科等】

総合的な学習の時間

社会、技術・家庭

中学校セカンドスクールにおける各種体験活動等 (令和元年度実施報告書より) *掲載のあったもの		
---	--	--

	実施 日	実施 場所	現地 宿舎	自然 体験活動	社会 体験活動	生活・文化 体験活動	対話活動等
A	9/26~ 9/30	長野県 北安曇郡 白馬村	民3 ホ1	① 八方池トレッキング	①林業体験(巻き割り、チェーンソウ) ②農業体験(収穫、調理)	①郷土料理体験 ②物づくり体験 ③オリンピック・パラリンピック学習 ④黒部ダム見学	■班長会議、 班会議
B	5/21~ 5/25	新潟県 十日町市 松之山	農2 旅2	①キョロロの森観察 ②自然観察ハイキング ③自然観察スケッチ ④人工林観察	①農業体験(山菜収穫、田植え)	①伝統料理体験 ②民泊農家のお手伝い(事前に挨拶状送付)	■係活動、班活動
C	9/30~ 10/4	長野県 北安曇郡 白馬村	民2 ホ2	①黒部ダムエコエネルギー学習 ②フォトギャラリー	①農業体験(手刈り、バインダー、コンバイン体験) ②合唱披露	①ものづくり体験 ②農家民宿における生活体験(郷土料理、収穫・出荷準備、掃除)	■班会議、部屋会議、班長・室長会議、宿会議
D	9/25~ 9/29	群馬県 利根郡 みなかみ町	キ1 農2 ホ1	①トレッキング ②キャンプ体験(星空観察)	①稲刈り・はざかけ体験	①農家泊(ジャムづくり、収穫等) ②たくみの里体験・そば打ち体験 ③ダム見学	■班長会議
E	9/17~ 9/21	長野県 北安曇郡 白馬村	民3 ホ1	①姫川源流散策	①大町町立八坂中学校との交流学習(地域紹介) ②ウイング21でのオリンピックレガシーについての学習 ③親海湿原環境保全活動	①白馬ジャンプ台見学 ②農村ふれあい体験 ③稲刈り体験 ③農家の方との交流学習会(暮らし、食育、*武蔵野市の紹介ポスターセッション)	■班長会議、班会議
F	9/4~ 9/8	長野県 安曇市	農1 公営 3	①上高地ハイキング	①農業体験(講義、稲刈り、わさび堀体験) ②安曇野オリエンタリング ③ガラス細工体験	①わさび漬け作り体験 ②民泊体験(農作業体験、ふれあい)	■部屋班・行動班係会議

**他者とよりよく協働する実践的な活動(生活や人間関係をよりよく形成する場)の設定
～長期宿泊体験活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして～**

【中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 特別活動編より】

第3節 学校行事 ～2 学校行事の内容～（4）旅行・集団宿泊的行事

① 旅行・集団宿泊的行事のねらいと内容

旅行・集団宿泊的行事については、学習指導要領第5章の第2で、次のとおり示している。

平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、**よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験**を積むことができるようにすること。

旅行・集団宿泊的行事のねらいは、次のとおり考えられる。

校外の豊かな自然や文化に触れる体験を通して、学校における学習活動を充実発展させる。また、校外における集団活動を通して、教師と生徒、生徒相互 人間的な触れ合いを深め、楽しい思い出をつくることことができる。さらに、集団生活を通して、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、集団生活の在り方について考え、実践し、互いを思いやり、共に協力し合ったりするなどのよりよい人間関係を形成しようとする態度を育てる。

旅行・集団宿泊的行事においては、例えば次のとおり資質・能力を育成することが考えられる。

- 豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けるようにする。
- 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するように考えることができるようにする。
- 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養う。

旅行・集団宿泊的行事としては、修学旅行、移動教室、集団宿泊、野外活動などが考えられる。

長期宿泊活動において網掛け部分のねらいをどう実現するか。

■第2章～第1節 特別活動の目標～（3）様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する～② 自主的、実践的に取り組む（p15）

・・・・・・例えば、多様な他者と協働する様々な集団活動の意義を理解し、そうした活動に積極的に取り組もうとする態度を育てるためには、実際に学級や学校の生活をよりよくするための活動に全ての生徒が取り組むことを通して、そのよさや大切さを、一人一人が実感を伴って理解することが大切である。

《学級活動（1）における学習過程（例）（p42）》

①問題の発見・確認 → ②解決方法等の話し合い → ③解決方法の設定 → ④決めたことの実践 → ⑤振り返り

→ 次の問題解決へ ①→②→③→④→⑤（繰り返し、積み上げる）

◎特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現に関連（新しい学び）

◎ 明日の〇〇活動を成功させるためにグループとしてこんなことができそうだとことを話し合い、書き出そう。

◎ 今日の活動でうまくいったこと。もう少しだったこと。それでは、明日の〇〇活動を成功させるためにグループとしてこんなことが・・・・

■4 学校行事の内容の取扱い～（1）学校行事の内容の取扱いに関する留意事項

Ⅰ 体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりする活動を充実する

学校行事においては、特に言語力の育成や体験したことからより多くのことを体得させる観点から、「体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実する」ことが求められる。その際、その場限りの体験活動で終わらせることなく、事前にそのねらいや意義を生徒に十分に理解させ、活動についてあらかじめ調べたり、準備したりすることができるようにするとともに、活動の節目や事後に、話す、聞く、読む、書く、などの活動を効果的に取り入れることが求められる。例えば、集団宿泊の実施に伴って、感想文をまとめたり、お世話になった方々に手紙を書いたり、発表会をしたり、他の学年の生徒、保護者や地域の住民に対する報告会を開催したりすることが考えられる。

また、体験活動を通して自分自身について考えたことを、学級活動（3）「一人一人のキャリア形成と自己実現」において、生

徒が活動を記録し蓄積する、いわゆるポートフォリオ的な教材等を活用した学習と関連付けることも考えられる。

武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会 今後の予定（案）

回	日 時	内 容
第 3 回	6 月 18 日（木） 15：00～	<u>小学校セカンドスクールについての検討</u> ・これまでの効果を担保し、かつ総合的な学習の時間の時数や働き方改革の観点から適切な泊数とは。 ・プレセカンドスクールの意義と適した内容 等
第 4 回	8 月 25 日（火） 15：00～	<u>中学校セカンドスクールについての検討</u> ・ねらいの重点化 ・ねらいに即した活動内容 等
第 5 回	10 月 8 日（木） 15：30～	<u>小学校と中学校の発達段階を踏まえた活動内容の検討</u> ・小学校と中学校の接続、連携を考慮した活動内容 ・中間報告について ・生活指導員の確保策 等
第 6 回	11 月 5 日（木） 15：00～	中間のまとめ（案）の検討
第 7 回	1 月 25 日（月） 15：00～	報告書（案）について